

広告



◀毎年30種類以上の作物を育てている小林さん。「今年はズッキーニが順調で、ほかにもオクラやナス、キュウリ、万願寺(まんがんじ)唐辛子を花畔の直売所やいしかり地物市場「とれのさと」に出荷しています」。



農薬や化学肥料を使わず、堆肥や自然の力で作物を育てる有機農業。「はるきちオーガニックファーム」では、美登位と北生振で有機農業を実践しながら、さまざまな取り組みを行っています。

毎夏、石狩湾新港地域で開催される「ライジングサンロックフェスティバル」での活動もその一つ。同ファームでは環境NGO ezorock(エゾロック)と協力し、この野外音楽イベントで出た生ごみを堆肥化して野菜を育て、翌年の会場で配る試みを平成20年から続けています。「せっかくの機会ですから有機農業の取り組みについて説明したり、農業の重要性を伝えます。その後、皆でジャガイモやミニトマトなど食べるんですよ」とは、同ファームを経営する小林卓也さん。今ではイベント時だけでなく、種まきや収穫の体験ツアーにも協力しています。「循環型農業を目に見える形で発信できればと思い、始めました」。

また「はるきちファーム」は、WWOOF(滞在型有機農業体験)のホストに登録。国内はもとより海外からもボランティアがやってきて、取材時にも愛知県と

野外音楽イベントで出る生ごみも堆肥にして野菜作り

アメリカから来た2人のボランティアが収穫作業を手伝っていました。「農業といかに接点を作るかが僕の仕事のひとつだと思っています。これからも農業に興味を持ってもらえる場を提供していければ」。

市民の皆さんも事前に連絡すれば、お手伝いすることが可能とのこと。ぜひ皆さんも有機農業に触れてみませんか!

●はるきちオーガニックファーム【直売所】

8月にはピュアホワイト(白いトウモロコシ)、水ナス、スイカ、新ジャガなどが並びます。

☎花畔363-13 ☎64-2095

🕒4月末～11月末/9:00～18:00

ライジングサンロックフェスティバル

石狩湾新港樽川ふ頭横(新港中央1周辺)で開催される野外コンサートイベント。今年で13回目を迎え、毎年全国から6万人以上の来場者が訪れます。

※当日は、道路が混み合ったり、音が響いたりすることが予想されますが、ご理解をお願いします

日時 8月12日(金)午後～14日(日)早朝

問合せ (株)ウエス ☎011-614-9999(平日11:00～18:00)

※開催期間中は☎72-4906

八月は石狩の地にあつて季節分かれの大月で、お盆も過ぎると海の色はより濃く藍を増し、鮭の到来を心待ちにする頃となる。旧暦では葉月、諸説ある中、あえて穂が張る月「穂張り月」からの説をとるとして、石狩の穂張りは生育状況からして順調。見極めにはもう少し経過を要するが、皇室への献穀米水田への期待は大きく膨らんでいる。◆農業総合支援センターの試験圃場は開設二年目の獲時期を迎えている。石狩野菜のブランドینگへの挑戦として、ハマボウフウ、チコリを始め、新種のさつまいも、落花生等のほか、耳慣れない「アイスパラント」の栽培に取り組んでいる。既に二軒の農家において栽培を始めているので、口後に少し塩っぱさを残す野菜に初顔合わせとなるだろう。◆JAいしかりの「とれのさと」、観光センター、市民図書館等のアンテナショップや、農家直販の夏の地野菜は、市民にとつて、甘みを堪能し、瑞々しい食感に心を満たすに十分なものとなっている。まさに「身土不二」。地に育つものを食することこそ、自然であり健康の秘訣である

◆この度の震災で、「地」を目覚めさせ、「地」に生きていくことの大切さを知った。心や精神風土の再耕を促し、郷土はかけがえのないものとの意識を強く持った。大震災で石狩に避難している方々も、日を重ね「地」の味の恋しくなる頃、その想いの早く来る事を祈らずにはいられない。(市長)